



大学時代にスザン・ジョージ著『なぜ世界の半分が飢えるのか』を読み、先進国と多国籍アグリビジネスによる発展途上国の食糧支配に衝撃を受けたことが、私が国際協力に興味を持つようになったきっかけでした。最後の章に「自分の家の玄関先ぐらいは掃除をしておく義務がある」とあります。カンボジアの医療や教育、女性と子どもの経済的自立支援に加えて、環境リサイクルや自然災害、子どもの貧困など、“先進国”日本が抱える社会課題にも積極的に取り組んでいることがセカンドハンドの魅力ではないでしょうか。3月でセカンドハンド北海道の代表を卒業し、設立者の大波さんにバトンタッチしますが、これからも応援しております。(吉田亜希)



2024年度は、イベント等への出店協力27回、講師派遣7回と、大変多くの活動機会をいただきました。講師派遣は、特に、高校生や大学生を対象とした講座が多く、カンボジアや途上国の子ども達の現状から国際協力について考える機会を提供しました。参加者からは「国際協力自体の多様性を知ることができた」「相手の立場に立って考える事は国際協力の場でも重要だが、日常生活においてもとても重要なことだと改めて実感した」「一人で考えるのではなく、周りの人と協力して解決していくこと、なにか困ったことがあったときは迷わず人に相談することが大切だと気付いた」といった感想が出ました。



昨年度は街頭での募金活動に始まり、高松桜井高校の文化祭での出店やフェアトレード祭りへの出店などを行ない、セカンドハンドユースをより多くの人に知つてもらえるようにメンバー全員で協力して活動しました。また、インスタグラムを活用してボランティアを募集する等、昨年度は広報活動にも力を入れました。  
また、今年の3月には交流会を通して参加者の皆様とメンバー募集の看板などを作成しました。店頭にも掲示する予定なのでぜひ御覧ください！これからもセカンドハンドユースをよろしくお願いします。



12月～2月までの3か月間にご寄付をくださった方々です。【順不同・敬称略】

青野千恵子、伊賀素子、池内保、伊藤裕喜子、鶴川利恵、大波美栄子、岡本洋功、小笠寛幸、柏原裕美、片山綾、金倉留美子、嫌長製薬株式会社、嫌田守恭、亀山誠子、川崎多恵子、吳妙寧、コットン古都夢、近藤運子、四国装飾株今井里美、清水博子、下地初子、シュエリン公子、白川ふみ、末澤一誠、嫌木省司、株式会社夢葉房たから、嫌タダノ(ハートフルポケット寄付金)、玉置真子、依恵美、塚田泰代、友近規、中澤力、西川秋美、西川亞里、西川みさご、沼田卓、のぞみ総合法律事務所、久松恵津子、福島玲奈、藤原和子、堀美紀子、堀真王、堀口公明、前田典子、真嶋由岐夫、松家春美、三木誠、美濃吉広、宮本宏子、宮本明宣、宮本弥生、弓削田裕子、横田千春、吉本房子、若宮武、若杉淳子、渡部豪、辯邊亜弥



## 本部・高松店

〒760-0055 高松市観光通1-1-18

TEL: 087-861-9928

営業時間: 月～金 10時～16時

定休日: 土曜、日曜、祝日

## 片原町店

〒760-0040 高松市片原町9-1

TEL: 087-822-3552

営業時間: 月～金 10時～18時

土・祝日 10時～17時

定休日: 日曜

## 松縄店

〒760-0079 高松市松縄町37-5

TEL: 080-4999-0494

営業時間: 月～水、金・土 11時～18時

定休日: 木曜、日曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています。

# 公益社団法人セカンドハンド

〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928

E-mail: jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/sh/



あなたの手を、世界の誰かに。

# Sambot

セカンドハンド通信

## 片原町店リデザインの完成！！

設立30周年ということもあり、東京中心に全国でチャリティショップのポップアップを展開するロイダッツ様のご協力により、2025年3月16日～17日セカンドハンド片原町店のリデザインを実施しました。商品のテーマを決めたディスプレイを行ったり、商品を入れるケースやカゴを統一し、わかりやすくラベルを付けたりするなど工夫して、お客様が楽しく、商品を手に取りやすく、よりお買い物しやすいお店になりました。引き続き応援よろしくお願ひします。

お客様から「明るく広く感じるね」「スッキリ見やすくなったね」「ディスプレイが可愛い」などの嬉しいお言葉も届いています。



## Contents

### 2024年度支援報告

- ・マラウイ支援
- ・こども食堂
- 職員紹介
- Network
- Special Thanks



2025 April

Vol.

120

# マラウイOAU(Orphan Affairs Unit) 支援

セカンドハンドは、2020年よりアフリカ・マラウイ共和国の現地連携団体OAU&スカイキッズアカデミーを通じて、女性の自立支援や貧困家庭(子ども)の支援を行っています。2024年度は、幼稚園園舎が暴風雨で屋根が吹き飛び甚大な被害を受けたため、追加の緊急支援も行いました。



ナミテテ母親手芸グループ製作風景

## 2 貧困家庭(子ども)の支援

OAUムンダセンターは、幼稚園・青少年活動支援・学費支援・シングルマザー・寡婦支援など様々な活動をボランティアで行っており、地域の包括的支援センターの役割を果たしています。セカンドハンドからの支援が貴重な財源となっています。



ナミテテ母親手芸グループと子どもたち



暴風雨で被害を受けた幼稚園園舎・教室

皆様のご支援が、大きな力となっております。  
引き続き、温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

## こども食堂支援

セカンドハンドでは、インフレ等の影響で困窮している子どもたちのために、こども食堂の運営団体を通じて継続して支援を行っており、2024年度は5団体に20万円の助成を行いました。どの運営団体も食事の提供だけでなく、子どもや子育て世帯の孤立を防ぐために子どもが安心して過ごせる居場所づくりや、地域の方々と子どもや家族との交流、教育・相談支援など様々な取組みを行っています。



支援先

あそび舎どんぐり(高松市六条町)、おかえり子ども食堂(高松市香西南町)、ぬくぬくママSUN'S(高松市岡本町)、まなびやもも(高松市太田上町)、まんまるサポート(高松市宮脇町)

5団体(アイウエオ順)



### 【まなびやもも 伊澤さん】

ひとり親家庭や保護者の方が仕事や病気、精神的な負担で食事の準備が難しいご家庭を対象に食事支援をしました。子どもたちが食事を楽しめるよう一緒に御飯を食べたり、家庭で活用できる食材を配布しました。クリスマスには、たこ焼きパーティーを開催し、みんなで調理を楽しみました。「またやりたい!」「一人ではこういうことをしないから来てよかったです」という声も聞かれました。安心して過ごせる場があるので、精神的な自由が感じられ、信頼できる人間関係を気づく機会となったことだと思います。また、不登校児童生徒の様子を在籍校の先生と共有することで、学校との連携を深める機会にもなりました。今後は、地域との協力関係をつくりながら「何かあつたら、ここに行けばいい」と感じられる場所を目指してまいります。

## 職員紹介



山地 真紀

1月から事務局の職員となりました。30数年間勤めてきた保育士とは違う経験にやりがいとおもしろさを感じています。そして今は、セカンドハンドと母の介護、地元ボランティア、うさぎの世話という生活のスタイルを楽しんでいます。よろしくお願いします。



津村 由喜子

2月から事務局職員として働いています。おいしいお店を探して仲のいい友人達と食べに行くことが楽しみです。セカンドハンドの素晴らしい取り組みをもっと多くの人たちに知ってもらい、少しでも多くのカンボジア支援ができるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。